

登録コード	BSD82567	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習Ⅱ(22BS以降)					担当教員	秋山 佳丈
英文授業名	Seminar in Biomedical EngineeringⅡ					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	修士論文の研究テーマに関連する研究論文の内容について理論的に説明でき、その妥当性や有用性など自らの思考述べられるようになる。	
(2)授業の概要	修士論文の研究テーマに関連する研究論文や専門書について、参加学生が輪番で講義ないしは発表し、討論を行う。						
(3)授業計画	1. 各データベースを利用し、修士論文に関連する学術論文の調査を行う。 2. 特定の学術論文を決定し、それについてスライドにまとめ、発表および質疑応答も行う。 3. 他の学生に発表内容に対して、議論を行う。 開講日程は、参加者に合わせるため、年度により異なる。						
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	プレゼンテーションには、参考文献なども含め十分に調査し理解した上で望むこと。また、ディスカッションにおいて、適宜文献や図書を紹介するので、各自読んで理解すること。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと。						
(9)その他							
【教科書】	とくに指定しない。						
【参考書】	とくに指定しない。						